

つるおか

# 市議会

平成29年

3月定例会号

●H29.5.1 発行

Vol.49

だより

やまがたの棚田20選

暮坪の棚田

(平成28年5月撮影)

3月定例会の概要……………P 2

総括質問……………P 5

委員会審査……………P 7

一般質問……………P 10

人口減少・地域活性化対策

特別委員会中間報告……………P 17

# 議会の概要

平成29年度予算を可決  
個人情報保護条例の  
一部改正等40件を審議

3月定例会は、3月1日に開会し、市当局が35件の議案を提出しました。請願2件については、所管の常任委員会に付託しました。  
上程された議案・請願は、総括質問、委員会審査などの後、議員提出の意見書2件及び附帯決議案1件を含め審議し、23日間の会期を経て、3月23日に閉会しました。  
(議案・請願・意見書の内容と審議結果は3〜4頁)

## 市当局が議案を提出 5人が総括質問

開会初日は、市当局が予算議案15件、条例議案10件、事件議案7件、人事案件1件、計33件の議案を提出し、各会派を代表して5人の議員が総括質問を行いました。

(総括質問の内容は5〜6頁)  
上程された議案は、予算議案は予算特別委員会に、条例及び事件議案は、所管の常任委員会に付託しました。  
次に、議第30号から議第33号までを審議し、表決の結果、全員賛成で、それぞれ原案のとおり可決及び同意しました。  
(人事案件の内容は下段)

## 予算特別委員会を開催 補正予算議案を審査

8日の本会議では、予算特別委員長が補正予算議案についての審査報告を行い、討論の後、

開会2日目に、予算特別委員会を開催し、付託された予算議案のうち、28年度補正予算議案6件について審査を行いました。提案説明の後、質疑を行い、討論の後、表決の結果、賛成多数で承認及び可決しました。

## 23人が一般質問

3日、6日、7日の3日間、市当局に対して一般質問を行い、23人の議員が市政全般について質問を行いました。  
(一般質問の内容は10〜16頁)

## 補正予算議案を承認及び可決 文化会館関連事業を集中審査

22日の本会議では、意見書提出を求める請願について、総務及び産業建設常任委員長が請願審査の報告を行い、討論の後、表決の結果、請願第1号及び請願第2号は賛成少数で不採択としました。

表決の結果、議第1号から議第6号までの6件について賛成多数で承認及び可決しました。  
また、本会議終了後、予算特別委員会を開催し、29年度予算議案9件についての提案説明の後、文化会館管理運営事業及び文化会館整備事業について集中審査を行いました。  
(集中審査の内容は7頁)

## 各常任委員会を開催 条例・予算議案等を審査

9日に総務、10日に市民文教、13日に厚生、14日に産業建設の各常任委員会を開催しました。  
常任委員会では、付託された条例及び事件議案の審査を行い、引き続き、予算特別委員会分科会として、予算議案の審査を行いました。

(委員会審査の内容は7〜8頁)  
また、総務及び産業建設常任委員会では、付託されていた請願の審査を行いました。

## 請願2件を不採択 予算特別委員会で分科会報告

22日の本会議では、意見書提出を求める請願について、総務及び産業建設常任委員長が請願審査の報告を行い、討論の後、表決の結果、請願第1号及び請願第2号は賛成少数で不採択としました。

次に、各分科会委員長が、予算議案の審査報告を行い、討論の後、表決の結果、賛成多数で可決しました。最後に委員が議第7号に対する附帯決議案を提出し、賛成多数で可決しました。

## 意見書2件を可決、条例・事件 予算議案は賛成多数で可決

議会最終日の23日、議員提出の議第1号及び議第2号の意見書2件を審議し、表決の結果、全員賛成で可決しました。

次に、各常任委員長が条例及び事件議案、予算特別委員長が予算議案についての審査報告を行い、討論の後、表決の結果、29年度予算を含む議第7号から議第29号までの23件を賛成多数で可決しました。

続いて、議員が議第3号の

附帯決議案を提出し、質疑を行い、討論の後、表決の結果、賛成多数で可決しました。  
次に、追加議案として、市当局が議第34号及び議第35号の2件を提出し、表決の結果、全員賛成で可決しました。

最後に、人口減少・地域活性化対策特別委員長が中間報告を行いました。  
(中間報告の内容は17頁)

## 予算特別委員長 岡村 正博 議員 (新政クラブ)

## 人事案件の結果 人権擁護委員候補者 五十嵐 英司氏 (湯温泉)

## 3月定例会日程

1日	本会議(総括質問)
2日	予算特別委員会
3・6・7日	本会議(一般質問)
8日	本会議、予算特別委員会
9・10・13・14日	常任委員会
22日	本会議、予算特別委員会
23日	本会議

▼市長提出議案と審議結果

議案番号	議案名	付託委員会	審議結果
議第1号	平成28年度鶴岡市一般会計補正予算（専決第1号）の専決処分の承認について	予算特別	承認 (賛成多数)
議第2号	平成28年度鶴岡市一般会計補正予算（第4号）	予算特別	可決 (賛成多数)
議第3号	平成28年度鶴岡市交通災害共済事業特別会計補正予算（第1号）	予算特別	
議第4号	平成28年度鶴岡市後期高齢者医療保険特別会計補正予算（第1号）	予算特別	
議第5号	平成28年度鶴岡市休日夜間診療所特別会計補正予算（第1号）	予算特別	
議第6号	平成28年度鶴岡市病院事業会計補正予算（第1号）	予算特別	
議第7号	平成29年度鶴岡市一般会計予算	予算特別	
議第8号～議第12号	平成29年度鶴岡市特別会計予算 国民健康保険、後期高齢者医療保険、介護保険、休日夜間診療所、墓園事業の各特別会計	予算特別	
議第13号	平成29年度鶴岡市病院事業会計予算	予算特別	可決 (賛成多数)
議第14号	平成29年度鶴岡市水道事業会計予算	予算特別	
議第15号	平成29年度鶴岡市下水道事業会計予算	予算特別	
議第16号	鶴岡市個人情報保護条例の一部を改正する条例の一部改正について 法改正により、地方公共団体が独自利用事務で個人番号（マイナンバー）を利用した情報連携が可能になったことに伴い、個人番号の情報連携に係る記録の取扱いを法定事務に係る情報提供等記録の取扱いと同様にするもの	総務	
議第17号	旧羽黒町路線バス条例の一部改正について (1)題名を鶴岡市市営バス設置及び管理条例に改めるもの (2)運行路線に田麦保線及び大鳥線を加えるもの (3)使用料を改正し、回数券を導入するもの	総務	
議第18号	三川町との庄内南部定住自立圏形成協定の一部変更について	総務	
議第19号	庄内町との庄内南部定住自立圏形成協定の一部変更について 圏域の福祉体制の安定と充実を図るため、社会福祉法人が設置する養護老人ホームの整備事業に対し、連携して支援を行うこととするもの	総務	
議第20号	鶴岡市特別会計条例の一部改正等について 鶴岡市交通災害共済事業の廃止に伴い、鶴岡市特別会計条例から鶴岡市交通災害共済事業特別会計を削除するとともに、鶴岡市交通災害共済基金条例を廃止するもの	市民文教	
議第21号	指定管理者の指定について（山五十川古典芸能収蔵館）	市民文教	
議第22号	鶴岡市高齢者交流センター設置及び管理条例の廃止について 鶴岡市高齢者交流センターを廃止するもの	厚生	
議第23号	鶴岡市立荘内病院医師修学資金貸与条例の一部改正について 修学資金の貸与資金に充てるため、U S G 医師修学資金貸与基金を設置し、基金の額を5,000万円とするもの	厚生	
議第24号	鶴岡市保育所設置及び管理条例の一部改正について 藤島こりす保育園の入所定員を220人から170人に改正するもの	厚生	
議第25号	鶴岡市国民健康保険診療所設置条例の一部改正について 鶴岡市国民健康保険上田沢診療所の診療日を当分の間、毎週金曜日のみとするもの	厚生	
議第26号	鶴岡市立加茂水族館設置及び管理条例の一部改正について (1)団体料金の適用人数を20人から10人とし、団体料金の変更を行うもの (2)新たに年間入場券を設けるもの	産業建設	
議第27号	鶴岡市農業委員会委員の選挙区及び定数に関する条例等の一部改正について (1)題名を鶴岡市農業委員会の委員、部会の委員及び農地利用最適化推進委員定数条例に改めるもの (2)農業委員会の委員定数を37人から20人に改正するもの (3)農業委員会の部会について、東部農地部会の委員定数を17人から10人に、西部農地部会の委員定数を15人から10人に変更し、農業振興部会を廃止するもの (4)農業委員会に新たに設ける農地利用最適化推進員の定数を31人と定めるもの (5)各委員の報酬について見直しを図るもの	産業建設	
議第28号	鶴岡市かたくり温泉入浴施設設置及び管理条例の廃止について かたくり温泉ほんばを廃止し、これに伴い、かたくり温泉整備基金を廃止するもの	産業建設	
議第29号	財産の取得について 水道施設を取得するもの	産業建設	
議第30号	市の境界変更に伴う財産処分に関する協議について 酒田市との境界変更に伴い、各市の所有の土地（道路及び水路）のうち境界変更に係る区域に存するものについては、変更後に属する市の所有とするもの	省略	可決

## ▼市長提出議案と審議結果

議案番号	議案名	付託委員会	審議結果
議第31号	山形県市町村職員退職手当組合理約の変更について 当該組合の構成員である一部事務組合の名称変更に伴い、所要の変更を行うもの	省 略	可 決
議第32号	字の区域及び名称の変更について 国土調査（地籍調査）の結果を受け、東堀越字沢田の一部を東堀越字郷ノ浜に、東堀越字郷ノ浜の一部を東堀越字沢田に変更するもの	省 略	可 決
議第33号	人権擁護委員候補者の推薦について	省 略	同 意
議第34号	鶴岡市立鶴岡第三中学校改築工事請負契約の一部変更について 契約金額を18億3,600万円から19億3,355万6,400円に変更するもの	省 略	可 決
議第35号	財産の取得について マリカ東館の専有部分に係る共有持分の一部を取得するもの	省 略	可 決

## ▼議員提出議案と審議結果

議案番号	議案名	付託委員会	審議結果
議会第1号	海洋ごみの処理推進を求める意見書の提出について	省 略	可 決
議会第2号	無料公衆無線LAN(W i - F i )環境の整備促進を求める意見の提出について	省 略	可 決
議会第3号	議第7号平成29年度鶴岡市一般会計予算に対する附帯決議について	省 略	可 決 (賛成多数)

## ▼請願と審議結果

請願番号	請願件名	付託委員会	審議結果
請願第1号	「共謀罪」（テロ等準備罪）法案に関する請願	総 務	不採択 (賛成少数)
請願第2号	農業者戸別所得補償制度の復活を求める請願	産業建設	不採択 (賛成少数)

## 3月定例会のポイント

# “新文化会館” 建設費増額

### 予算特別委員会で集中審査

今定例会に提出された平成29年度一般会計予算議案で、新文化会館の建設費が大幅に増額されることが判明し、総括質問、一般質問において、多くの議員が質問を行いました。（工事費経過は16頁）

また、市民有志から「鶴岡市文化会館建設における特別委員会の設置並びに公聴会の実施に関する陳情」が市議会に提出され、この陳情については市民の関心も高いことから、議会運営委員会、会派代表者会議において協議を重ね、予算議案であることを考慮し、全議員が出席する予算特別委員会において集中審査をすることとしました。

3月8日午後特別委員会室で行われた集中審査には、全議員、市長、副市長、教育長、総務部長、建設部長、教育部長ほか担当課長等が出席し、傍聴者17人、報道機関10社も入り、約2時間に渡り、増額に至った経過などについて質疑を行いました。

(集中審査の内容は7頁)



### 29年度予算に対する附帯決議

3月23日の議会最終日に29年度予算議案について、反対・賛成あわせて5人が新文化会館建設費増額に触れ、討論を行いました。（討論の内容は9頁）

表決の結果、賛成多数で同議案は可決となりましたが、議員が附帯決議案を提出し、賛成多数で可決しました。市当局に対して附帯決議を真摯に受け止めた対応を強く求めました。

### 附帯決議（要旨）

文化会館整備事業関連予算は、数度の工事費増額となり、今回の増額分にはすでに完了した工事や屋根の設計変更なども含まれ、議会に対し十分な説明もなく進められ、議会軽視であり誠に遺憾である。

市民から今後について不安の声が多く出されている。市長及び執行機関は事業執行のあり方を厳格にし、行政と議会の信頼関係を損なわないよう厳に求めるとともに、契約額の圧縮、維持管理費の抑制のためのあらゆる方策の検討、市民の声を広く聴く場の設置、市民への丁寧な説明、議会説明ガイドラインの早急な策定などに十分留意し取り組むこと。

# 総括質問

市長提出議案に対して  
会派を代表して質問します

(執筆は質問をした議員本人です。)



新政  
クラブ

岡村 正博 議員

## 市長3期目への出馬決意は

議員 市長自身、これまでの成果についてどのように評価しているのか、また、2期目の任期は10月までだが、その後の進退について考えを伺う。

市長 8年間取り組んできたルネサンス宣言、5つの文化都市構想、また、市民の皆様からの要望等に議会の理解を得て積極的に取り組んだと思っている。その中でもユネスコ食文化創造都市の認定、あるいは慶應先端研が成果を上げており、今後さらに本市のまちづくりの柱として進めていかなければならないと思っている。10月の市長選挙において、市民の審判を仰ぎたい。

## 最終処分場の建設予定地は

議員 現在の岡山の処分場にかわる施設整備を、上郷地区大荒地内を最適地と判断した経過を伺う。

市長 土地利用規制等の基本的事項を調査し、全国都市清掃会議で公表している廃棄物最終処分場整備計画・設計・管理要領を参考に評価項目を設定し、建設候補地と

して妥当であるかを評価した結果、適していると判断した。

## 新文化会館の事業費増額対応は

議員 新文化会館の工事費増額について、あらかじめ説明すべきと考えるが市長の考えを伺う。

市長 最終的な全体工事費の見通しが固まらない状況での説明が、難しいのではと考えたことから結果的に遅れてしまったところである。今後このようなことのないようしっかりと対応したい。



建設中の新文化会館



新政  
クラブ

五十嵐 一彦 議員

## 日沿道県境周辺の休憩施設整備計画は

議員 進捗状況と今後の進め方は。

市長 平成25年度に庁内で基本構想をまとめ、26年度から基本計画策定検討委員会を開催し、基本計画づくりを進めており、27年度は日沿道から利用しやすい施設アークセス形状について検討を行っている。28年度は専門家による指導、助言を受けながら、世界に誇る本市の食文化や関川のしな織など温海地域の観光資源を最大限に活かし、高速道路利用者のほか周辺市町村の方々にも利用してもらえ、施設になるよう事業内容や事業継続のための収益性について検討を行っており、今春には基本計画を取りまとめたかと考えている。

## 食文化情報発信拠点整備の内容は

議員 マリカ東館1階ユネスコ食文化創造都市情報発信拠点施設のコンセプトは。

市長 具体的には市では駅舎内にある観光案内所を移転し、インバウンド観光にも対応できる職員を配置した案内所を整備するほか、

食文化情報発信スペース、料理イベントや料理体験教室、酒まつりなど人気イベントと連動した集客企画を展開するイベントスペースを整備する。同時に民間事業者は地酒などを気軽に味わい購入できるブースのほか、地場の食材を販売するブース、地場の食材や調理にこだわった有名シェフによる飲食店などを計画しており、官民が連携して食文化を体験できる魅力ある施設づくりをコンセプトとして整備する。



市民  
クラブ

石井 清則 議員

## 文化会館、増額の内訳を示さず

議員 今回の増額には不明な点が多くあるが、その内容は。

市長 工事の内訳は、現在も請負者と協議中であり、新たに発注する工事もあるため、現時点で示すことは控えたい。協議が調った段階で速やかに議会に説明し、6月の変更契約について諮りたい。

## 文化会館、増額の責任は

議員 ここにきて、さらなる増額は、市民の理解を得られるとは思えない。市長は設計者に責任はないとの考えを示しているが、増額

の責任と市長の責任は。

市長 今回の主な設計変更は、安  
全性・利便性の向上や将来負担軽  
減につながる必要な変更であり、  
その結果増額となっているが、最  
終的には価値ある施設になると考  
えている。増額は私自身苦渋の決  
断であり、説明の遅れや庁内での  
情報共有の不足は遺憾なことで受  
け止めている。私としては、完成  
させ、安心して利用いただくこと  
が務めだと考え、しっかりと説明し  
た上で、市長選で審判を仰ぎたい。

### 出羽三山観光、より積極的に

議員 出羽三山観光の今後の展開  
や課題解消の取り組みは。

市長 湯殿山・羽黒山・鶴岡駅等、  
拠点を結ぶ観光バスの運行実証や、



手向の宿坊街

五重塔ライトアップの継続、精進

料理の魅力発信の支援などを実施  
する。また、宿坊街の景観整備と  
して、家屋や門等の修繕や、観光  
客を滞留させる仕掛けづくりなど  
を支援する。今後も関係団体と連  
携し、一層積極的に取り組みたい。



日本共産党  
鶴岡市議員  
菅井 巖

### 市民の懐を温める施策を

議員 産業経済施策では、慶應先  
端研やバイオサイエンス関連への  
傾注、農産物輸出や国際観光など、  
安倍政権の推進する「地方創生」  
のモデル的姿勢を示している。市  
民の懐具合の冷え込みは、市民税  
の個人税収前年度比約2億円のマ  
イナスで明らか。市民の懐を温め  
る施策と予算拡充、労働者の雇用  
安定と賃金底上げに向けた支援を。

市長 モデル的と所見いただいた  
事業は、成長分野の産業であり、  
地域資源をより地域外にアピール  
して、地域産業の底上げになる絶  
好のチャンスと思っている。雇用  
状況は改善されているが、企業側  
では優秀な人材確保に苦勞してい  
る。事業主に処遇改善などの国の  
助成制度活用を声掛けをしている  
が、個々の経営環境が違うため直

ちに改善を図ることは難しい。

### 子育て支援の拡充を

議員 市が昨年度実施した調査か  
ら子どもの貧困実態が見え、支援  
を求めている。保育料無料化の拡  
充、学校給食無償化、医療費無料  
化の対象年齢を18歳・高校卒業ま  
で拡大すべきでは。

市長 就学援助の新入学用品費は、  
平成30年度入学者に対して、入学  
前支給が可能になるよう計画を進  
めている。年齢要件を拡大した第  
3子以降の保育料無料化を来年度  
も実施する。学校給食費の一部負  
担軽減無償化については考えてい  
ない。医療費無料化の対象年齢拡  
大は実施に係る財政負担が大きく、  
県の支援レベルアップを、13市の  
市長会などで要望している。



政友会  
クラ  
秋葉 雄  
議員

### 文化会館のランニングコストは

議員 市民の多くの皆さんが心配  
しておられるランニングコスト、  
将来予想される大規模改修も視野  
に入れるほどの程度必要か。

市長 60年という期間で使用を考  
えた場合、一般的に建物のライフ  
サイクルコストは、舞台設備を備

える新文化会館だが、使用期間全  
体で修繕と更新費用として約80億  
円と想定される。今回の設計変更  
により将来負担額は約6億円削減  
できるものと見込まれている。

### 文化会館建設が本市財政の 将来に与える影響は

議員 ごみ処理施設等の大型の財  
政需要が見込まれる中、本市財政  
の将来にどんな影響があるか。

市長 合併特例債についてはその  
7割が交付税措置されるので、3  
割相当額が市の実質的な後年度負  
担となる。通常15年間で償還する  
ので、単年度の負担額は平準化に  
よりかなり抑えられるが、少なか  
らず影響はあると認識している。  
今後の負担軽減につながる命名権  
の活用やふるさと納税など新たな  
財源確保などについても積極的に  
検討しながら、安定的な財政運営  
に支障がないよう努めたい。

### 食品加工業者の育成を急げ

議員 食品加工業者を育成する方  
策を打ち出さねばならないと考  
えるが。

市長 自社のみでの製品開発は難  
しい状況なので、山大、慶應先端  
研、鶴岡高専、県の公的試験機関  
からの支援をいただきながら取り  
組んでいきたい。



# 委員会審査

提出された議案を  
それぞれ所管の委員会に  
付託して審査します

(審査の主なものを掲載します。)

## 予算特別委員会 「新文化会館」集中審査

(工事費増額の経過等は16頁)

### 工事費増額の内訳は

**委員** 工事費の増額理由として、将来負担額の低減、安全性向上、地中障害物等による変更、運営スタッフ・利用者の利便性向上をあげているが、項目ごとの内訳は。  
**建設部長** 主な変更項目は、屋根下地の変更(ボードから軽量コンクリート)。このことに伴う下部構造の補強や大地震でも破損、落下のないよう大ホール等の天井木製ルーバー取付方法の変更、連絡用ワイヤレスインカム、無料Wi・Fiスポット設置等であるが、工事費の内訳については、請負者と協議を進める部分、詳細を詰めていく部分があり、合意をしていない現段階においては明らかにできない。  
**維持管理費の見込みと財源確保は**  
**委員** 今後60年使うとして、補修を含めた維持管理経費の見込みは。また、その財源確保の考えは。  
**建設部長** 修繕と改修工事費については、60年間で建設費とほぼ同額の80億円程度が見込まれるが、毎年平均してかかるというもので

はなく、設備で20年、外装で30年ごとといった大規模改修の際には相当額かかるといえるものである。  
**教育部長** 財源確保のため、ネーミングライツ(※)を遅くとも平成30年3月までには導入したい。また、ホールや練習場はもとより、エントランスや駐車場も貸し出しできるように自由度の高い使い方を想定し、使用料の確保に努めたい。

### 設計変更は市からの要請か

**委員** 屋根・つり天井等の工法変更等は、市側からの要請なのか、設計業者からのアドバイスなのか。  
**建設部長** 将来の維持管理を含め、より良い建物にするため、現場レベルでは様々な検討を行っている。検討の中で提案内容によって施工者、設計者から、逆に市側から提案する場合もあるが、施工者、設計者、市担当者がそれぞれの立場で、その提案がプラスになるのか、施工上の問題はないか等の協議を行い、最終的には市が指示書として変更の指示を出している。  
**工事費増額の責任は**

**委員** 当初45億円の計画が倍以上に膨らんでいる。市民の理解が得られているとは思えないが、その責任をどう考えているのか。  
**総務部長** 幾度も増額したという経過については、財政を預かる者として、市民の血税という意味からも大変申し訳なく思っている。責任を果たさなければならぬ。最大のものは、これから文化会館をどう生かしていくかと、市民にかにうまく使っていたかどうかということ、それが一番大切なことだと考えている。

### 文化会館運営への市民参加は

**委員** これからの文化会館はみんなで創りあげるといふことに尽きる。運営への市民参加の考えは。  
**教育部長** 市民サポーター、友の会を29年度中には立ち上げて、多くの方から参加いただけるような体制を作っていきたい。  
**施設管理の運営体制は**  
**委員** これだけの施設の管理・運営体制をどう考えているのか。  
**教育部長** 29年度は、市の直営施設として開館準備業務委託先のスタッフとともに準備を進め、30年度には指定管理者制度に移行をしたい。運営準備に万全を期し、円滑な移行に努めたい。

### 総務常任委員会

市営バスの土曜・日曜日の運行は

**委員** 市営バスの運行路線に朝日地域の田表俣線・大鳥線の2路線を加えるとのことだが、土曜・日曜日に運行しないため不便に感じるとの声もある。土曜・日曜日を運行日から除外した理由は。また、今後、朝日庁舎まで土曜・日曜日に運行する可能性はないか。  
**地域振興課長** 庄内交通から26年度に路線縮減の申し出があり、その後に行った実態調査の結果を受け、運行便数を定めたものであり、また、運転手不足という地域事情も踏まえて総合的に判断したものである。なお、土曜・日曜日の運行については、今後の利用状況を見ながら検討していきたい。

### 予算特別委員会 総務分科会

食と風土の祭典推進事業の計画は

**委員** 食と風土の祭典推進事業は、どのように計画しているのか。  
**食文化推進室長** ユネスコ食文化創造都市としての食文化資源をインバウンドに活かし、食と農の景勝地に認定された取組計画である

「食文化体験ツーリズム」の開発  
と「食と風土の祭典」の開催に向  
けた実施計画の策定や実施準備を  
行うこととしている。平成30年度  
の実施に向けて、29年度は市民ワ  
ークショップの開催や食文化体験  
プログラムの展開などの準備を進  
めていきたい。

## 市民文教常任委員会

### 古典芸能収蔵館の指定管理は

委員 山五十川古典芸能収蔵館の  
指定管理は、30年度に予定してい  
る譲渡までの1年間だが、指定管  
理と譲渡では、管理においてど  
のような条件の違いが出てくるのか  
社会教育課長 これまでも地元自  
治会には指定管理に係る委託料は  
無償で、光熱水費も負担してい  
ただいており、譲渡を受けても日  
常的な経費負担は変わらないが、建  
物保険について、市で加入してい  
たものが、譲渡先での加入・負担  
となる。なお、譲渡後に発生する  
大規模修繕等については、補助金  
で対応したいと考えている。

## 予算特別委員会 市民文教分科会

### 屋内多目的運動施設の用地選定は

委員 屋内多目的運動施設を大山  
工業団地に選定した経緯は。

スポーツ課長 期限のある合併特  
例債を財源として活用するにあ  
って、用地交渉や造成が不要とな  
るため、経費と時間が節約できる  
こと。すでに道路が整備済みで各  
地域から市街地を通らずにアクセ  
スが可能で、かつ、小真木原公園  
から車で15分圏内にあること。第  
五中学校区に計画している拠点体  
育館との一体的な整備が可能とな  
ること。以上のことから教育委員  
会としては、大山工業団地を適地  
と選定したものである。

## 厚生常任委員会

### 高齢者交流センター利用者の 活動場所は

委員 高齢者交流センターを廃止  
するとのことだが、施設利用者  
今後の活動の場はどうなるのか。  
長寿介護課長 今後の活動の場と  
しては、セントルや各地域のコミ  
セン等を活用していただくこと  
なるかと思う。なお、セントル  
の改修工事期間中は、にこ♥ふる  
を使用させてもらう予定である。

## 予算特別委員会 厚生分科会

### 屋内遊戯施設整備支援事業は

委員 屋内遊戯施設整備支援事業  
に關し、補助金の使途、施設の公  
益性や運営方法、また、30年以降  
に検討している支援内容は。

子育て推進課長 サイエンスパ  
ーク内でヤマガタデザイン社が行  
う屋内遊戯施設整備における建設費  
用の一部を補助するもので、市内  
外の親子に開放するということや  
子育て環境の整備と交流人口の拡  
大という観点から公益性を有して  
いると判断している。また、市民  
の利用料負担のあり方の検討は必  
要と考えているので、今後、運営  
方法等について協議していきたい。  
なお、30年以降の支援については、  
必要に応じて検討していくが、遊  
具や施設の整備支援が考えられる。

## 産業建設常任委員会

### 加茂水族館団体適用人数の変更は

委員 団体料金の適用人数を20人  
以上から10人以上に変更すること  
のことだが、全体客数に占める10人  
以上の小グループの割合は。

観光物産課長 10人以上の小グル  
ープの入館実績は把握していない  
が、20人以上の団体適用料金で入  
館している割合は、全体の約6%  
である。大学のゼミの学生等、10  
人以上20人未満の小グループでの  
入館が多くあり、団体適用人数を  
変更することで入館者へのサービ  
ス拡大につながるという現場の声  
もあることから、10人以上で団体  
料金の適用とするものである。

## 予算特別委員会 産業建設分科会

### 狩猟免許取得者の実績は

委員 鳥獣被害対策事業に狩猟免  
許取得支援事業補助金が計上され  
ているが、この補助制度を利用し  
た狩猟免許取得者の実績は。

農政課長 狩猟免許取得者の実績  
は、27年度が3人、28年度は9人  
となっており、免許取得者の増加  
には昨年、山形県が庄内地域で初  
めて開催した狩猟セミナーも一定  
の効果があつたものと認識してい  
る。これに伴い猟友会の会員数も  
27年度の167人から28年度は  
175人に増加している。





# 討 論

表決の前に、提案された  
議案に対して、賛成か  
反対かの意見を表明します

(討論の主なものを掲載します。)

## 平成29年度予算議案・ 条例議案等について

### ▼反対 日本共産党鶴岡市議員

文化会館改築工事の増額予算は、その原因と責任を明らかにすべきである。議会に説明もなく、すでに工事の変更や着工をしていたことは、議会軽視であり、厳しく問われる。一般廃棄物最終処分場の候補地問題では、地元の反対の声を無視して進めるやり方は、住民自治と民主主義に反しており、候補地の再検討を求める。慶応先端研バイオ研究補助金3億5千万円は29年度も継続され、更には、屋内遊戯施設に1億円など、公金支出がバイオ関連サイエンスパーク開発投資に大きく偏っている。

かたくり温泉入浴施設ほんぼは、地域住民の福祉の向上や地域コミュニティを支える重要な施設であり廃止に反対する。

国保税の減税や上下水道料金の引き下げ、公民館の使用料無料化など、市民の暮らしと福祉、農業と地元商工業の振興に予算を拡充することを求める。

### ▼賛成 新政クラブ

当初予算案は、少子化対策、移住定住、雇用創出、地域づくりなどの点で、これまでより一歩踏み

出したものであると評価している。

個別の事業については、人口減少対策について総合的に網羅された内容であり、特に市民要望の多かった屋内多目的運動施設の整備や屋内遊戯施設整備への支援については、高く評価する。また、マリカ東館1階の整備については、食文化創造都市情報発信拠点施設として活用が進められ、併せて駅前機能の再整備やジャスコ跡地活用など、中心市街地活性化に資する事業について今後に期待するものである。特別会計については、国の動向を注視しながら適切な対応を望む。企業会計については、機能の充実、安心安全、コスト感覚を保ちながら長期の事業運営を心掛けていただきたい。条例・事件議案については、いずれも妥当なものと考ええる。

### ▼反対 市民クラブ

文化会館改築事業の増額については、疑問が残る。合併特例債は、学校・コミセン・保育園改築など、今後必要になると想定される投資事業にも使用できるため、今回の増額の費用対効果に持ち出すのはおかしい。また、工事費の内訳に關しては、協議中や新年度の発注工事があることを理由に、すでに着手している分の金額すら示されていない。さらに設計の問題では、

今回は、重大な内容変更に当たる「計画変更」である。工事費の内訳等が示されていないため、工事の一時中止に当たるケースとは断定できないが、説明及び資料が不十分なため、問題がないとは言えない。これらは議会軽視であり、変更途中で議会に対し全く説明がなかった点は、大きな問題である。議会としては、疑問点の解明を急ぎ、納得できる形で事業を進めていくことが、市民の声に込めることにつながると考える。

### ▼賛成 政友公明クラブ

文化会館の屋根の形状、建設費の増額に対しては、市民の皆様から強い批判の声が上がっている。文化会館は、本市芸術文化の中心拠点として、広範な市民要望、特に芸術文化活動団体からの強い要望にこたえて建設が始まったものであり、建設費用がここまで増嵩したからと言って今更取り止め、中止をすることはできない。現段階における民意は、建設の続行、早期の完成である。文化会館が品格あるまちの中心施設として、その役割を十二分に果たし、次世代に向け芸術・文化振興の歴史をつくらせていくこそが本筋の議論であり、施策の方向性でなければならぬ。ここまで事業費が膨らんでしまったことは誠に不本意ではあ

るが、今更工事を中止する選択はあり得ないものであり、できるだけ早期の完成を望む段階での大方の民意を尊重し、本予算案に賛成せざるを得ないと判断する。

### ▼賛成 新政クラブ

今回の文化会館の改築事業の増額については、党派の中で何度も会議を重ね、議論し、様々な対応を検討してきた。その結果、附帯決議を付けて本予算案に賛成し、建設を進めることで党派内の意思統一をしたものである。党派として諸手を挙げて今回の予算増額に賛成した訳ではなく、あくまでも附帯決議を市長・市当局が真摯に受け止め、遂行する事を前提とした賛成、つまり、附帯決議の内容は本予算に対する条件付き賛成の「条件」である。内容に盛り込んだ建設費の縮減・契約額の圧縮及び維持管理費の抑制は、市民の願いでもある。予算に対する附帯決議は、本市議会の歴史の中で極めて異例のことである。その重みをしっかり受け止め、文化会館に関わる全ての部署が附帯決議の内容を胸に刻み、緊張感を持って今後の工事請負契約の交渉、管理運営に当たっていただきたい。



# 一般質問

市政全般について  
考え方や方針などを  
市当局に質問します

(総括質問を行った議員を除く20人の  
質問を掲載し、執筆は質問をした議員  
本人です。)



小野 由夫  
議員

## 文化会館建設に伴う経緯と 建設費増額は

**議員** これまでの整備事業の誤算、また、度重なる増額についてどう捉えているのか。

**建設部長** それぞれの判断は重いものであり、様々な要素を検討し決断してきた。事業費の増高（そと）についても、建設関係物価の高騰、先行きが不透明なことなどから、財政負担等も勘案して判断してきた。今回の設計変更に係る増額は将来負担の低減、長寿命化につながるものであり、必要な変更であった。

**議員** この度の増額は明らかに設計上予測可能であり、業者の

責任ではないのか。

**建設部長** 屋根については設計段階での比較対象であり、その意味では予測可能な変更となっているが、このことで瑕疵（かし）とすることはできないと解している。  
**議員** これ以上の工事費の増額は生じないのか。

**建設部長** 不可抗力な状況が発生した場合を除き、工事関係費の増額はないし、できないと考える。

**市長** 市民や議会に対する明確な説明のない中で進めてきたことに私自身もじくじたる思いである。今後は市民、議会に説明するガイドライン的なものについても協議していく。



今野美奈子  
議員

## 利益の上がるユネスコ食文化 創造都市情報発信拠点施設に

**議員** マリカ東館1階施設の利益・集客計画を伺う。

**商工観光部長** 市が支援するが、民間事業者に対応する事業であるため具体的な数字については控えたい。市では安定した運営がかなうように総合アドバイザーを設置し、民間事業者と連

携を図っていく。庄内酒まつりとの連携イベント、駅前商店街が主催するハロウィン事業とのタイアップイベントを行うなど、広く施設の周知に努めていく。  
**議員** 日常的に賑わう施設でなければならぬ。魅力はなにか。  
**商工観光部長** 一般市民を対象として料理のイベント開催、食文化体験ツアーなどを展開していくが、魅力ある店舗作りのために具体的に詰めていきたい。



ユネスコ食文化創造都市情報発信拠点施設が整備されるマリカ東館

## 市の受動喫煙防止対策は

**議員** 現在の公共施設、観光地での喫煙場所は適切か。

**健康福祉部長** 現在の設置場所を詳しく調査した上で場所の移設を理解いただけるように働きかけた。観光地については、庄内保健所では観光客が訪れる

飲食店などに年100件程度、訪問指導や、駅や道の駅にも受動喫煙防止対策の実施を依頼している。市では県と一体的に取り組んでいきたい。

**議員** 市役所エレベーターのたばこ消臭対策はないか。

**健康福祉部長** 常時換気をするなど、エレベーター保守業者と相談しながら検討していきたい。



渡辺 洋井  
議員

## 県の地域医療構想への方向性は

**議員** 県の地域医療構想では、団塊の世代が75歳になる2025年には庄内全体で特に急性期ベッドが約600床過剰になると推計している。北庄内では地域医療連携推進法人を立ち上げたが、人口減少、医師不足、経営改善などを考慮すれば、南庄内に留まらず庄内全体の医療構想が考えられるのではないか。

**病院事業管理者** 県の主導で構想実現に向けた取り組みを始めるところである。庄内病院は地域医療支援病院として南庄内における地域医療連携を地区医師会や各病院とともに強化を図り、南庄内地域で完結できる地域医

療構想実現に努めていきたい。

## 子供の貧困対策での学習支援は

**議員** 生活困窮者自立支援法の任意事業の一つである子供の学習支援の早期実現に向けた取り組みの今後の進捗状況は。

**健康福祉部長** 教員OBのボランティア学習支援はあるが、庁内連携会議で検討を重ねるも実現には至っていない。子供の将来の自立に向けた包括的支援となるので引き続き検討していく。

## 加茂水族館の基金と中長期計画は

**議員** 新装オープン3年間で入館者数186万人を超え、水族館整備振興基金は約9億円である。基金の使途と中長期計画は。



来館者でにぎわう加茂水族館

踏まえて基金を有効活用し、計画的に管理運営と整備を行い、入館者数を維持していきたい。



加賀山 茂  
議員

### 学校統合による地域の将来は

**議員** 栄小学校の統合が決まり閉校となる。閉校後の学校と地域の連携、地域のあり方に市はどのように関わっていくのか。昭和34年建築の小学校体育館が痛々しいほど老朽化している。

体育館建設を市長に要望、羽黒中学校完成と歩調を合わせた建設が話題になり、市長の言動もあつた。地元は喜び、建設に期待を膨らませたが実現に至らず、しかし、希望をなくしたわけではなく、今度は文化活動に



栄小学校校舎

も利用できる地域の多機能型体育施設として整備してくれるものも期待しているが、考えは。

**教育長** 学校に対する地域の協力、地域行事への児童の参加等、学校と地域の連携は子供たちの健全な育成に大変重要と認識している。これらについては統合

準備委員会の学校部会が中心となり、各自治会等と綿密に調整を図っている。市としては統合に至った経緯を踏まえ、教育環境の向上にこれまで以上に配慮していきたい。閉校後の校舎棟

の活用は地域の皆様から利活用について議論をいただきながら、地域振興につながる活用を検討していく。栄小の体育館は老朽化が著しく、閉校後は解体の方

向で今検討している。スポーツ推進計画では、地域拠点施設の整備について、中学校区を中心に検討、推進すると定めている

が、提案の多機能型体育施設については市域全体のバランスや利用実態等を考慮し、今後の検討課題とさせていたたく。



中沢 洋  
議員

### 高齢者の生活保護受給増加は

**議員** 年金だけでは生活ができず、生活保護を申請する高齢者が増加している。対策が必要と思うが、当局の見解を伺う。

**健康福祉部長** 本市の生活保護受給状況は、昨年12月末現在で1,088世帯、1,297人となっており、世帯数は年々増加している。高齢者世帯の割合が約47%と最も高く、要因として介護施設に入所する方が増加し、年金だけでは入所費用を賄えないといった実態が伺える。

市では、高齢者の貧困は社会的な問題と捉え、生活自立支援センター「くらしス」、地域包括支援センター、シルバー人材センターなど関係機関の取り組みとともに、国の高齢者雇用対策も踏まえ、きめ細かな相談支援体制の構築が必要と認識し、その上でなお、生活維持が困難であると判断した場合は、最後のセイフティネットである生活保護につなげる等、相談者の状況に応じた取り組みを進めたい。

### 老後の安心のため年金のPRを

**議員** 若者は年金制度に対する不信感が強く、このままでは、無年金者・低年金者が増え続ける。若者から年金制度を正しく理解してもらうための対策は。

**健康福祉部長** 市では国保年金課で年金の窓口業務、相談対応を行っているが、日常業務の中で様々なやりとりがあるので、その際に有効なPRができるよう、鶴岡年金事務所とも相談して対策を講じていきたい。



富樫 正毅  
議員

### 子どもの貧困対策は

**議員** 子どもの貧困対策は、早期に行うほど効果が大きい。学齢期においては、スクールソーシャルワーカーの活動、アウトリーチ(※)支援が大変重要である。配置の拡充が求められるが、

**教育長** 現在、スクールソーシャルワーカーを1人配置し、困難を抱える保護者に寄り添いながら信頼関係を築きつつ、関係機関に働きかけをしている。その活動の有効性は大きい認識しており、次年度以降の配置について、県教育委員会に強く要望を続けていく。また、教育委員会と健康課との連携強化や義務教育修了後の切れ目のない支援についても、大きな役割を果たしていくものと期待している。

**議員** 子どもの貧困対策には、

切れ目のない多様な施策が家庭状況に応じて必要となる。相談しやすい環境づくりが重要であり、必要な情報が届かないという情報格差解消が求められる。そこで、総合的相談支援体制の確立が望まれるが。

**健康福祉部長** 妊娠、出産、子育て期に至る切れ目のない支援の拠点として、平成30年度までには「子育て世代包括支援センター」の設置を検討している。センター機能のあり方として、発達支援や貧困を要因とする様々な生活課題も含め、乳幼児期、学齢期を通じて幅広い年代に対応した、子どもに関するあらゆる相談を受ける「子どもの総合相談窓口」を整備することについて検討を進めている。



※アウトリーチ…援助が必要だが自発的に申し出ない人々に対して、公共機関等が訪問指導などを行い、支援の実現をめざすこと。



### 文化会館整備事業は

議員 増額工事費の内訳を示すことが必要と考えるが。

建設部長 増額は施工者の見積りに基づき積み上げたものであり、その内容はなお精査、協議が必要な部分もある。工事請負契約は総価での契約であり、発注者と請負者の協議により確定させていく。現在協議を進めており、差し控えさせていただく。議員 事前に議会、市民に説明がないまま進められてきたことが一番の問題である。その原因はどこにあったのか。

市長 議会、市民の皆様が説明が遅れ、行政に対する信頼を失わせたことに皆様におわび申し上げる。芸術文化の拠点として良い施設になるようにと、総意の工夫の上で取り組んできた。それに伴い増額に至った。今後、事業の進捗状況に合わせ議会の意見等をいただくガイドライン等についても検討していく。

### ドローンの活用は

議員 ドローンの活用策について

て何う。

市民部長 昨年、市総合防災訓練において活用を試みたところ、実災害時でも活用できると認識するとともに多様な用途での活用に期待が持てると感じた。防災面での導入に向けた検討を行っている。

議員 防災面だけでなく、市部局の横断的検討チームの考えは。市民部長 災害時の活用策の検討を優先し、その実績を踏まえ



ドローンの空撮画像で避難状況を確認(平成28年度市総合防災訓練)



### 新年度に込めた農業予算は

議員 農業所得を増大させるために販売力強化にどう取り組む

か。中山間地域活性化のためにジビエ(狩猟肉)や山菜など加工商品開発をどう後押しできるか。農林水産部長 米を主体としつつ、園芸作物等の生産振興も進める。GI(地理的表示)保護制度等の活用により品質やブランド力の向上と、ブランド力のある農産物の生産拡大により産出額を伸ばす必要がある。今年度から始まった鶴岡産物ファン拡大事業、全国メロンサミットの誘致やネギサミットへの参加で、産地のアピールを積極的に行う。ジビエは朝日地域に熊の処理・加工施設の検討を進めている。6次産業化の機運の醸成をさらに図っていく。

### 多様な世代に支えられる農業を

議員 農家は貿易自由化において、はえぬき「特A」陥落に落胆しているが。

市長 2014年の市町村別農業産出額は267億円で県内トップだが、全国では32番である。30番以内は園芸作物や畜産を主体とする市町村がほとんどである。本市では米は岩盤であり、ふるさと納税の返礼品の多さが実証している。何としても300億円を確保し、30番以内に入るよう、米と合わせ、園芸作物や

果樹等の生産を進め、農家収入を上げていくことが若い担い手の育成にもなる。トップセールス等も行い、活き活きと鶴岡で農業が展開できるようにあらゆる取り組みを行っていく。



雄大な農地が広がる本市



### 3010運動は

議員 食品ロスの効果的な低減のための具体的な運動として、3010運動(※)についてどのように考えているか。

市民部長 食品ロスの低減対策として有効な手段であり、先進事例などを参考に、関係する団

体と連携しながら進めていきたい。

議員 鶴岡商工会議所でも取り組んでいく方向性について承認を得られた。鶴岡市がユネスコ創造都市ネットワーク食文化認定都市としてこの運動を行う意義は大きいと思うがどうか。

企画部長 現在、第2次鶴岡市食育地産地消推進計画の策定作業を進めているが、食品ロス低減に関する市民への啓蒙についてもその中で議論していきたい。

### 自殺者の状況と対策は

議員 鶴岡市における自殺者の状況、傾向、自殺予防施策は。

健康福祉部長 平成18年の自殺者は50人であったが、28年は25人と10年間で半減した。しかし、人口10万人に対する自殺死亡率は、本市では27・7と全国のは、本市では27・7と全国の18・9、山形県の21・7と比べても高い。年代別にみると働き盛りの30代から50代が全体の5割を占めている。男女別では男性が女性の1・6倍となっている。自殺予防策としては鶴岡市自殺予防対策ネットワーク会議での取り組みに加え、個別ケアの強化やこころのサポーター研修会の開催などを通じて市民への普及啓発を行っている。

※3010運動…さんまるいちまる運動。宴会等から出る食べ残しを削減するため乾杯後30分と終了前10分は席について食事を楽しもうという運動



菅原 一浩  
議員

### 中心市街地活性化基本計画 策定の検討状況は

**議員** 第2期中心市街地活性化基本計画の策定が必要と考えるが現状の検討状況はどうか。

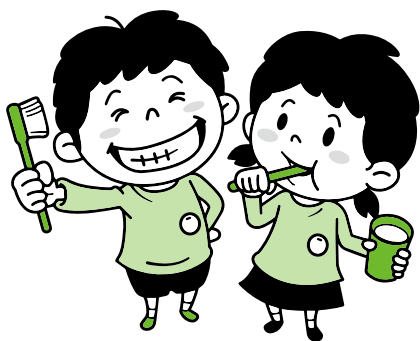
**商工観光部長** 新たな中心市街地活性化のビジョンとなる次期中心市街地活性化基本計画の策定に向けて、中心市街地活性化基本計画検討委員会を新たに立ち上げ検討を進めている。平成30年4月から5年間の計画期間の中で、まちなか観光の振興、まちなか居住の促進、中心市街地の活性化と市民の多様な交流の拡大といった視点から協議を進めており、今後、素案をとりまとめ、中心市街地活性化協議会における協議を経て29年度中に国へ申請を行う予定である。

### 歯科口腔保健行動計画の策定は

**議員** 本年2月に策定された歯科口腔保健行動計画の策定過程について伺う。

**健康福祉部長** 本市では、乳幼児健診での歯科衛生士によるブラッシング指導、歯周疾患検診

事業、8020運動普及啓発事業など各種事業を実施し、歯と口腔の健康増進を推進しており、一定の成果を得てきた。さらに鶴岡地区歯科医師会と歯科保健連絡協議会を設置し、情報交換を行い、各事業の評価と内容充実を図ってきた。こうした協議を重ねる中で庁内それぞれの部署ごとに進めてきた事業を包括的に捉え、歯科口腔保健を一層推進するために、歯科口腔保健計画の必要性が確認された。



小野寺佳克  
議員

### 空き家対策と活用状況は

**議員** 空き家の現状と対策、活用状況について伺う。

**市民部長** 22年度と27年度に調査を行い、棟数は2、273棟から2、806棟と533棟増えている。倒壊の恐れなどのある空き家は188棟から122棟で減少している。不良空き家の対策として、中心市街地居住促進事業で4棟を解体し、1つの宅地を公募している。

来年度からは解体経費が土地価格を上回る場合、上回る額の範囲内で一部を助成する制度を創設する。活用の面では移住希望者に、空き家9軒をお試し住宅として提供し、2人が入居し移住を決めている。来年度からは更に市営住宅の空き室2部屋をお試し住戸として活用する。

### 公共交通輸送の対策は

**議員** 公共交通輸送の維持と対策について伺う。

**企画部長** 地域公共交通網形成計画を昨年度策定し、市全域の公共交通ネットワークの効率化、幹線及び中心市街地と周辺地域の拠点を結ぶ枝線は市の責務として維持に努め、廃止代替などの地域内移動手段の確保は地域が主体的に取り組むことを基本方針とした。今後、「路線の再編をする交流活性化」、「地域主体の交通サービスを導入する市民

協働」、「交通環境の改善や市民意識の醸成を行う環境改善・利用促進」の3つのプロジェクトを推進し、市民生活を支える公共交通の維持確保を目指す。



本間 信一  
議員

### ふるさと納税の課題は

**議員** 寄付金額等の推移は。

**総務部長** 返礼品導入後の27年度は約3億5千万円、28年度は2月末現在で約6億9千万円と寄付件数、金額とも約2倍となり、地場産品の魅力が受け入れられている。

**議員** 返礼品の提供者の記載がないのはなぜか。

**総務部長** 理由は特にないが、各事業者に市の返礼品を扱っている意識を持っていただくためにも記載を検討したい。

**議員** 寄付金の使途と実績は。

**総務部長** 創造文化都市5千6百万円、観光文化都市6千万円、学術文化都市3千9百万円、安心文化都市5千万円、森林文化都市9千9百万円となっている。

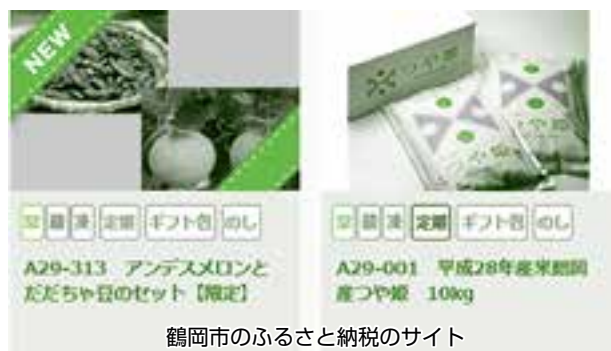
**議員** 返礼品の拡充や寄付金の目標など今後の課題は。

**総務部長** 返礼品はこれまで拡

充をしながら延べ194品目提供してきた。人気どころは見えてきたので、確実にロットをそろえることなどが課題の一つであり、新たな商品開発も必要である。返礼品はつや姫やはえぬき、だだちゃ豆やメロン、日本酒や月山ワイン、温海豚の加工品、海産物の干物などが選ばれており、引き続き魅力ある返礼品の充実に努める。29年度の寄付金目標8億円を達成させたい。

**議員** 返礼品の「品切れ中」が気になる。対応は。

**総務部長** 返礼品の安定供給に向け、在庫確保に努め、季節商品などは「品切れ」の表示を削除するなど改善していきたい。



鶴岡市のふるさと納税のサイト



本間新兵衛  
議員

### 中高一貫校の設置は

**議員** 本市の重要事業でもある中高一貫校設置への取り組みは、**教育長** 庄内に設置が検討されているのは県立中学校・県立高等学校併設型である。本市に設置されることで、高等教育機関等と連携した学びも期待できる。中高一貫教育に関する調査・研究を進め、引き続き重要事業として要望していく。また、保護者を対象に利点や課題等の話し合いを行い、情報提供していく。

### 観光誘客を図る施設計画を

**議員** 温海温泉バラ園の拡充や高齢者のアクセス等の整備は。**温海庁舎支所長** 高齢者のアクセスの充実や温海公園との一体的な整備は大規模改修が必要であり、計画的な整備を検討する必要がある。将来、管理方法の見直しを検討しており、地元関係団体等と協議していきたい。**議員** あつみ温泉ICと温泉街への看板の設置について伺う。**温海庁舎支所長** 象徴的な看板やモニタメントの整備は国や県

に相談し検討する。温泉街の案内看板は不足しており、地元関係団体と設置の検討を行う。

### 温泉街入口部の落石防止対策は

**議員** 主要地方道余目温海線小学校東交差点から温海温泉街までの落石防止対策について伺う。**建設部長** 特に交差点付近は、通学路の安全確保から早急な対策を継続的に県に要望している。新年度、調査事業について予算要求していると伺っている。



落石防止対策が求められる温海温泉入口付近



佐藤 久樹  
議員

### 市特産物の国内向け販売強化を

**議員** 本市には食の親善大使も

おり、首都圏等へのPRは効果的と考えるが、市特産品の販路拡大に向けた取り組みは。また、新たな販売戦略イベントは。

**農林水産部長** 本市では首都圏における農林水産物の販売拡大のため、首都圏等の料理人や飲食店関係者を招聘して圃場や魚市場の視察、農家や漁業関係者との意見交換等を行い、鶴岡産食材の魅力発信に取り組みできた。こうした取り組みにより、鶴岡産食材の支持者は確実に増えてきている。また、新たなイベントとしては、7月に全国メロンサミットを本市で開催する。サミットを契機にGI（地理的表示）保護制度の取り組み等により、品質とブランド力の向上につなげていきたい。

### 全国クロダイ釣り大会は

**議員** 来年度開催予定の全国クロダイ釣り大会の内容は。

**農林水産部長** 地元NPO等と意見交換を行っているが、開催時期は10月頃とし、単に釣果を競う大会とはせず、釣り文化に係るフォーラム開催等も企画する。また、鶴岡に滞在し、おいしい食も楽しんでもらいたい。

### 次代につながる文化会館運営を

**議員** 文化会館の運営や運用も重要と考えるが市の見解を伺う。**教育部長** 平成30年3月から1年間は、オープニングイヤーとして様々な事業を展開したい。市民参加の観点から、29年度は市民サポーターを募集したい。



市の魚「クロダイ」



佐藤 博幸  
議員

### 地域コミュニティ活性化のための地域協働型・住民と行政の役割は

**議員** 住民主体・地域協働型のまちづくりを進める上で、住民の役割、期待するものは何か。**市民部長** 「地域ビジョン」を策定・共有して住民自ら課題解決に取り組んでいただきたい。

ステツプアップ事業補助金によりコミュニティビジネスの際の独自財源確保の支援もしている。**議員** 昨年3月「地域コミュニティ推進計画」が策定された。行政は役割をどう果たすのか。**市民部長** 自治組織による地域課題解決のための機能補完を始め、コミュニティ支援員、朝日・温海の過疎地域の集落支援員により支援していきたい。

### 市職員の役割は

**議員** 25年に地区担当職員制度が導入された。部長は当時、制度制定に携わったが市職員は役割をどう果たすべきと考えるか。**総務部長** 職員である前に地域住民である。地域活動に積極的に参加し、その体験を通じて学び、語り合い、地域の一員として、職員として成長してほしい。

### 学校・教職員・保護者等の役割は

**議員** 学校は地域コミュニティの拠点である。学校支援地域本部もあるが、活性化のため学校は役割をどう果たしていくのか。**教育長** 学校・家庭・地域の連携推進が地域コミュニティを支える人材育成につながる。学校教育・社会教育両分野で地域と連携し事業を推進していきたい。



今野 良和  
議員

### 旧ジャスコ跡地の有効活用計画は

**議員** 長年空き地状態が続く旧ジャスコ跡地約3千㎡の有効活用策を急ぐべきと思うが、現状と整備見通しについて伺う。

**建設部長** 駅前地区の活性化に向けた、まちなか居住推進のため、民間事業による複合型中高層集合住宅の整備を検討していきたい。先に本市が実施したアンケートでもマンション整備に対する需要がうかがえた。新年度に事業の採算性など実現性について、地元の関係者や開発コンサルタントなど専門の知見を得ながら、特定目的会社や不動産信託など運営手法を探り、事業化を検討していきたい。

### 藤島グラウンドゴルフ場の排水対策を

**議員** 低地のコースが利用できず、早急に改善してほしいと協会より強く要望されているが、新年度の対応を伺いたい。

**教育部長** 排水対策として、東側に約46㎡、西側に約37㎡の暗渠管の設置の提案を、芝生を管

理委託している専門業者から受けている。指定管理者と連携を図り降水時の排水の状況を再確認し、必要な財源の確保を図りながら、改修工事の実施について検討していきたい。

**議員** 芝生の管理の考え方は。  
**教育部長** 芝生の管理は専門業者に依頼することが最善策と考え、芝刈り業者と契約時に芝刈りの時期及び回数について協議し、使用に支障のないように努めていく。



藤島グラウンドゴルフ場



伊和 耕一  
議員

### 鳥獣被害対策への本気度は

**議員** 被害の正確な調査と捕獲

意欲向上を図る狩猟報奨金等の充実を図るべきと思うが。

**農林水産部長** 市が直接実施する鳥獣被害防止対策事業と、市が事務局を務める鶴岡市鳥獣被害防止対策協議会が実施する被害防止対策があり、両者合わせて約2,500万円と、県内他地域と比較して非常に多い事業費規模である。猿を例にすると、被害面積8.4ha、被害額約1,870万円を3年後に10%減と目標を設定し、新たに大型の罠わなによる捕獲の調査・検討や地域住民全体が主体となった被害防止活動を進めていきたい。

### 海岸沿線の振興策の本気度は

**議員** 若者定住の一役を担う余暇・レジャー活動での海岸沿線の活性化とPRは。

**商工観光部長** 豊かな自然を活かしたレジャーや温泉、食文化等の情報をSNS等で発信するとともに、各団体の観光地域づくり活動支援など海岸部の振興に向けて積極的に取り組みたい。

### 県立鶴岡病院跡地の利活用は

**議員** 建物解体後の跡地利用は。  
**教育長** 庄内地域で病院跡地への専用サッカー場の整備を県に要望してきたが、実現性は非常

に低いと想定され、本市単独でスポーツ推進計画にある人工芝グラウンドの整備地として検討していきたい。選手の育成はもちろん、交流人口の拡大で地域の活性化につながると考える。



旧県立鶴岡病院



加藤 鑽一  
議員

### 高齢者のタクシー利用助成を図れ

**議員** 高齢者の運転免許自主返納に対する自治体の支援策は。

**市民部長** 酒田市では5千円分のバス乗車券かタクシー券の交付などがあり、庄内町ではタクシー利用券を申請年度ごとに上限2万円で交付している。

**議員** 鶴岡市も支援策を実施すべきではないか。

**市民部長** 他の自治体の取り組み効果を調査し、地域交通対策と連携して検討していく。

**議員** 高齢者タクシー利用助成が浜松市など合併自治体でも広がっており、導入できないか。

**企画部長** 地域の広い本市では、タクシー利用が高額となる地域が多く、タクシー事業者の有無の地域差もある。バス等の公共交通が幅広く利用しやすいものとなるよう、定額の通学バスや共通フリーパス券など新しい仕組みについて検討作業を進める。

### 増税不要だったのではない

**議員** 国保は平成27年度に3億円を超える赤字で、28年度に1人当たり2万円の増税を行った。28年度の決算見通しはどうか。  
**健康福祉部長** 単年度収支で約3億3千万円の黒字になる。

**議員** 27年度の医療費急増に対し、法定外繰入れをしていれば増税の必要はなかったのでは。  
**健康福祉部長** 国では決算補填目的の法定外繰入れの解消を図るとしている。30年度から県と市町村の共同運営になり、保険給付費は県から全額交付されるため財源不足になることはない。



加藤 太一  
議員

### 公契約条例の制定を

議員 公契約条例制定の背景には①地元企業の育成と地域内経済の循環。②適正な労働環境の確保。③公契約を通じての社会的な価値の実現等がある。条例制定でこれら事項を明確にし、地域経済と市民生活に利するべき。また、制定への検討を行うべきでは。

総務部長 公共工事は賃金、労働条件の適正な確保が重要である。公契約は地域経済振興のため各契約制度を総合的に活用し、労働条件が適正に確保されるよう必要に応じ見直していく。当面は労働関係法令で対応したい。

### 指定管理者制度のガイドラインを

議員 制度導入から10年、様々な問題がある。参入資格が限定され事実上競争性がない。経費の縮減を目的に契約切り下げが常態化している。指定期間の設定で長期的計画が立てられないなどの問題解決に向け運営指針が必要では。また、導入施設の最低賃金額を定める考えは。



かたくり温泉ほんぽ

議員 3月末で営業休止の予定だった朝日地域の温泉「ほんぽ」

### 温泉「ほんぽ」への支援策は



田中 宏  
議員

総務部長 現在135施設を指定管理とし、期間は3年から5年が全体の95%となっている。運用については、制度導入手続き等のガイドラインを手引きとし、運営はそれぞれの施設に合った基準を設定している。労働者の賃金については、指定管理者と所管課で協議し、職員配置、業務形態等に応じた人件費も含めた委託料の算定が行われていると認識している。今後も良好な運営ができるように努める。

を住民主体の運営組織で担う見通しとなった。市としての支援策や観光振興のための連携は。朝日庁舎支所長 新年度予算に温泉施設運営に必要な電気、水道料の経費を計上した。防災無線やケーブルテレビなどを活用した広報面や、六十里越街道などつなげた観光振興への助言などで協力していきたい。

### 「地域とともにある学校」へ

議員 福岡県春日市などの先進地に学んで、小中学校をコミュニティスクール化する考えは。

### 教育長 地域と学校が連携する

重要性は認識しており、地域住民が学校に入り学校課題を解決する学校支援地域本部の仕組みづくりに取り組む。地域とともにある学校づくりで地域の担い手としての子供たちの自覚が高まり、学校と地域の相互理解が深まる等の成果を認識している。議員 学校が地域と連携を深めることで防災拠点として確立することにしている所見は。

### 教育長 学校は重要な防災拠点

であり、地域との連携について今後、より力を入れていきたい。

### 議員 国もコミュニティスクール

推進を努力義務と閣議決定したが、気運醸成の取り組みは。

教育長 地域と学校が一体となって行われてきた特色ある教育活動を大切にしながら、コミュニティスクールの導入について包括的に検討していきたい。

## 鶴岡市文化会館改築工事の本体工事費経過

本体工事費	工事費増額理由等
約40億円 整備基本計画 (H24. 3策定)	・平成11年度～20年度に開館した、座席数1,000～1,500席の公立文化施設の建築費の坪平均単価を基に算出。(総事業費見込額 45億円)
約78.9億円 (H26. 9. 30入札)	・契約額 78億8,400万円 (平成26年10月10日議決) 設計時より仕上げや設備の見直しで工事費の抑制を図ったが、震災復興、東京五輪等を背景とした全国的な建設費の高騰など、以下の事由により落札業者決定まで4回の入札を実施。 ①物価高騰や消費税増税により鉄骨やガラス、機器と設備など建築資機材の見積価格と労務単価が上昇。 ②工事の安全対策強化を図り足場など仮設費用の見直し。 (総事業費見込額 85億7,400万円)
約86.2億円 (H29. 3定例会)	・インフレスライド額 約1億8,700万円 (労務単価等の変動による) ・本体増額・付帯工事費 約5億4,000万円 (下記等による増額) 屋根下地を変更し、耐久性の向上と修繕工事費等の低減を図る。 メンテナンス用設備を見直し、定期点検や機器交換等の軽減を図る。 地下の障害物による変更、無料Wi-Fiスポット設置等。 ※平成29年度発注予定の外構工事等、備品購入費を合わせた総事業費見込額は96億7,600万円

### 会派変更のお知らせ

今野 良和 議員  
変更前…新政治家クラブ  
変更後…無所属



# 人口減少・地域活性化対策特別委員会中間報告

## 子育て、地域コミュニティ形成支援を市長に提言



3月22日市長に提言を行いました



大平地区での懇談会

人口減少・地域活性化対策特別委員会（平成27年3月設置）では、人口減少対策及び地域活性化対策のための特に重要な事項として、「子育て支援」と「地域コミュニティ形成支援」に絞り、調査活動を行ってきた。各担当の分科会では、中山間地等の市街地周辺の住民、子育て世代、企業経営者との懇談会の開催等を行い、皆様から貴重なご意見をいただき、実態や課題を把握することができた。また、先進地視察、委員勉強会等を通して見識を深め、市当局との意見交換、議員全員協議会における協議を行い、議論を重ね、この度、調査報告書をまとめました。この報告書により、29年3月22日に市長に対し、提言を行いました。（提言の要旨は下記のとおりです。議会ホームページから報告書をご覧ください。）

### 子育て支援

#### ◆子育て全般の環境整備

- ・子育てに関する各種制度の情報提供の強化
- ・子育て世代包括支援センター（仮称）等の整備、妊娠・出産・子育て期に至るまでの切れ目のない支援体制の確立
- ・家庭環境によって、子どもの可能性が制限されないような対策の実施

#### ◆子育て・教育にかかる費用負担の軽減

- ・子育て支援クーポンなど広く子育て費用に充当できる施策の検討
- ・地元就職を条件とした奨学金などの検討

#### ◆産後ケア、乳児訪問

- ・保健師の訪問による産後ケアの充実
- ・夫（パートナー）の育児参加の取り組み強化

#### ◆保育園

- ・保育の受け入れ日と時間、受け入れ月齢・年齢の拡充
- ・兄弟姉妹は同じ保育園となるよう配慮
- ・タイムリーな保育園の情報提供

#### ◆学童保育、病児・病後児保育

- ・パート勤務、ひとり親家庭等でも利用しやすい料金設定
- ・病児・病後児保育の施設、受け入れ定員の増加

#### ◆通学

- ・スクールバスの有効活用など、通学に対する危険や保護者の不安をなくすための対策の実施

#### ◆子どもの遊び

- ・遊び場の確保、遊具施設の整備、破損遊具の早期改修
- ・全天候型の遊戯施設及び運動施設の整備

#### ◆職場環境

- ・企業への協力依頼や補助制度の周知のため、中小企業少子化対策ハンドブック作成など丁寧な情報提供の実施
- ・高校生対象の地元企業による仕事紹介の継続
- ・育ボス養成に取り組んでもらえるような啓蒙の実施

### 地域コミュニティ形成支援

#### ◆日常生活（買い物、通院等）の移動手段の確保

- ・民間事業者との連携による多様な交通手段の活用など、より効果的な対策の検討

#### ◆医療、介護等の体制の確保

- ・中山間地域における医療サービス施策の展開、介護予防等も含む介護サービス事業実施のための環境の整備
- ・地域包括ケアシステムの機能充実

#### ◆地域コミュニティの維持

- ・地域リーダー育成のための機関創設、社会教育の充実を目指した施策展開
- ・コミュニティビジネスを展開するモデル事業の検討

#### ◆安全な暮らしを支えるための仕組みの確保

- ・中山間地の各地域特性を見極めた防犯、災害対策の検討
- ・高齢者世帯の玄関先除雪、屋根の雪下ろしなど、きめ細やかな除雪対策の検討
- ・自主防災組織の活性化、消防団員の確保、防災士の養成等の取り組み推進
- ・地域消防団員不在時の常備消防等の補完体制の充実

#### ◆農林水産業などの産業振興

- ・地域で組織する団体等の法人化支援、地域農業を再生するための人員確保、雇用の開発、生産品の販売・加工の支援、ICT（情報通信技術）の積極的な利活用
- ・6次産業化を支える拠点施設整備の支援
- ・都市住民との交流促進を図るツーリズムの取り組み推進

#### ◆子育て環境の整備と移住・定住の受け入れ

- ・中山間地域において、安心して子育てできる環境の整備
- ・地域ごとの活動拠点づくりの支援、新規就農者や移住者受け入れのためのサポート体制づくり、就農支援金制度の拡充等の実施
- ・移住者の体験発表会、意見交換会の開催、移住者の産品販売システム構築の支援

#### ◆行政の支援体制

- ・地域の自主性・自発性を尊重した地域づくりの支援

## 6月定例会日程(予定)

日	月	火	水	木	金	土
	請願・陳情 提出期限 6月7日(水)午後1時			1	2	3
4	5	6	7	8 議会運営委員会	9	10
11	12	13 本会議 (開会・総括質問) 予算特別委員会	14	15 本会議 (一般質問)	16 本会議 (一般質問) 議会運営委員会	17
18	19 本会議 (一般質問)	20 総務 常任委員会	21 市民文 常任委員会	22 厚生 常任委員会	23 産業建 常任委員会	24
25	26 委員会予備日	27	28 議会運営委員会	29 予算特別委員会	30 本会議 (表決・閉会)	7/1

※各会議の開会時刻は午前10時です。  
午後にはわたる場合は1時間程度の休憩をはさみ再開します。  
※日程は変更される場合がありますので、ご了承ください。

## 議会を傍聴してみませんか

議会を傍聴するには

- ◆「本会議」は議場の傍聴席で傍聴できます。本所4階ロビーに傍聴の受付があります。傍聴の定員は64人です。
- ◆「委員会」は各会議室で傍聴できます。本所2階の議会事務局で傍聴の受付を行っています。傍聴の定員は5〜20人です。
- ※団体で傍聴する場合は、あらかじめ議会事務局までご連絡をお願いします。
- ◆「本会議」は本所及び各庁舎市民ロビーでのテレビモニター中継や、インターネットでの中継及び録画放送でも視聴できます。

## 議会傍聴アンケート

3月定例会を傍聴された方から寄せられたご意見・ご感想(一部抜粋)を紹介します。

- ・身近な議会なのに市民の傍聴者が少ないのは残念。夜間の議会開催などを望む。
- ・身近な事については十分理解できる内容で参考になった。
- ・質問者の勉強不足の部分がかった。やはり市議会報を見ただけではわからない部分があって、傍聴してよかった。

議会の会議録を閲覧するには



議会傍聴の様子

◆本所及び各庁舎の市民ロビー、鶴岡地域の各コミセン、図書館本館において、会議録が閲覧できます。  
◆インターネットで会議録の閲覧・検索ができます。鶴岡市議会のホームページをご覧ください。

## 市議会ホームページ

市議会の活動をわかりやすくお伝えしています。ぜひご覧ください。

<https://www.city.tsuruoka.lg.jp/shisei/gikai/>  
(鶴岡市役所ホームページ内)

鶴岡市議会 で検索

◎ホームページ掲載情報

- ・議員名簿、委員会構成
- ・本会議情報
- ・インターネット版議会中継、録画データ
- ・会議録
- ・市議会の運営など

## 編集後記



3月定例会では、平成29年度予算を中心に審議が行われました。1年の鶴岡市行政運営を方向付ける重要議案が上程され、慎重な審議が行われました。

市議会だよりでは、審議の内容や議会活動をわかりやすくお伝えできるよう努めております。ご意見、ご感想などがございましたらお気軽にお寄せください。

発行/鶴岡市議会 編集/広報広聴委員会

〒997-8601 山形県鶴岡市馬場町9-25  
電話 0235-25-2111 FAX 0235-25-2123  
メールアドレス gikai@city.tsuruoka.lg.jp

R70

VEGETABLE OIL INK

環境に配慮し再生紙と植物油インキを使用しています